

# AGU

# 青山学院大学 NEWS

# No. 50

AGUニュース第50号  
[2010年1月～3月号]  
青山学院大学  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL.03-3409-8111 (代表)  
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>

		<p>おかげさまで「AGU NEWS」は、2000年3月25日の創刊号以来、節目のNo.50記念号を迎えました!</p>					

特集 AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

**2010**  
**箱根駅伝**  
**HAKONE EKIDEN**



**箱根駅伝で41年振りのシード権を獲得!**  
**総合8位で箱根路10区間を駆け抜けました!**

**TOPICS**

文部科学省「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」に、3件の取り組み事業が採択

**報告・お知らせ**

青山学院創立135周年・大学開設60周年記念国際会議開催  
2009年度ベアレンツウィークエンド実施状況報告

**誌上公開講座**

テーマ別科目 人間理解関連科目  
「人間関係とコミュニケーションB」

**INFORMATION**

大学・大学院学費納付について

# 2010 箱根駅伝 HAKONE EKIDEN

## 箱根駅伝で41年振りのシード権を

昨年33年振りの箱根駅伝出場を果たした陸上競技部が、連続出場となった今年1月2日、3日の第86回東京箱根間往復大学駅伝競走において総合8位（11時間21分25秒）で走り切り、上位10校にまで与えられる来年のシード権を獲得。

往路  
大手町～箱根・芦ノ湖  
5時間39分19秒  
往路9位



**1区** 大手町～鶴見 (21.4km)

**出岐 雄大** (社会情報学部1年)  
総合9位 (区間9位) 1時間03分48秒  
自然に身体が動き、自分の走りをしっかりできました。

**2区** 鶴見～戸塚 (23.2km)

**米澤 類** (国際政治経済学部4年)  
総合5位 (区間5位) 1時間08分54秒  
今までやってきたことの正しさを結果で証明できました。



**3区** 戸塚～平塚 (21.5km)

**荒井 輔** (法学部4年)  
総合8位 (区間7位) 1時間04分09秒  
必ず取ると誓ったシード権をみんなの力で獲得できました。



**4区** 平塚～小田原 (18.5km)

**横山 拓也** (総合文化政策学部1年)  
総合9位 (区間13位) 58分36秒  
10年前からの憧れの舞台上、力いっぱい走りました。



**5区** 小田原～箱根 (23.4km)

**小嶺 篤志** (法学部1年)  
総合9位 (区間10位) 1時間23分52秒  
来年も5区を走り、今年以上の結果を残します。

**〈往路〉1月2日 大手町～箱根・芦ノ湖 (108.0km)**

大きなプレッシャーのかかる1区を任されたのは、1年生の出岐君。箱根の目標に「区間1桁の順位で走りたい」と掲げていましたが、その言葉通りに区間9位の快走を見せてくれました。例年になく早いペースで推移した今年の1区。10km付近で数名がスパートし、出岐君は先頭集団から遅れはじめます。しかし、そこから冷静でした。つねに自分のペースを守りながら、第2集団を積極的に引っ張ります。そして、区間9位で2区の米澤君に襷をリレー。今年の区間16位のタイムが、昨年の区間賞に相当するというハイレベルのなか、チームに勢いをつける出岐君の“箱根デビュー”となりました。

1年生の“激走”に刺激を受けた4年生の両エースも期待に応えます。まず各校のエース級が集う花の2区に挑んだ米澤君。序盤に日大のダニエル君に抜かれてしましますが、ペースを乱すことなく、じつと自分の走りに徹しました。チェックポイントとなる横浜駅前通過時に個人区間11位、権太坂通過時に個人区間8位と徐々にペースアップ。順位もジワジワと上げていき、戸塚中継所では3区の荒井君に5位で襷をつなぎます。しかもエースが集うなかで、個人記録も堂々の区間5位の走りでした。

米澤君と笑顔で襷をリレーした荒井君。中盤までは早大、東海大、東農大と4校で併走しながら4位争いを繰り広げました。その後4位争いから遅れ、最終的には8位での襷リレーとなりましたが、個人の走破タイムは区間7位の好記録。「3区までに上位争いに加わって流れに乗る」との原監督の作戦通り、シード権内をキープする8位の成績で、4区、5区の1年生に往路の後半戦を託します。

4区 横山君は襷を受けてすぐ、前に行く東海大をとらえて一旦は7位に順位を上げます。その後、東洋大と中央大に抜かれるものの最後まで粘り切り、9位で同じ1年生の小嶺君に襷を手渡しました。そして5区の“山登り”に抜擢された小嶺君は、シード権内の9位で受け取った襷を芦ノ湖まで必死に運びます。途中9.5km地点の大平台は、順位をひとつ上げて8位で通過。その後、順位をひとつ落としますが、シード権内の9位をキープしたまま往路をフィニッシュ。復路でのシード権獲得に“夢”をつなぎました。

**〈復路〉1月3日 箱根・芦ノ湖～大手町 (109.9km)**

復路は往路優勝の東洋大から7分17秒後に9番目でスタート。41年振りのシード権獲得に向けての戦いが始まりました。原監督から「調子が良いので、復路の流れを作ってもらいたい」と6区に送り出された小川君は、“山下り”でつねに安定した走りを見せます。各チェックポイントを個人区間10位前後をキープしたまま通過し、15km付近では早大を抜いて8位に順位をアップ。さらに持ち味の最後の粘りで日体大も交わし、総合7位で襷を7区の市岡君につなぎました。個人記録でも区間7位の好タイム。監督の起用に応える快走でした。

7区 を走る4年生の市岡君は最初で最後の箱根駅伝。4年間の思いのすべてをこの日の走りにぶつけました。序盤で後ろから来た早大に抜かれますが、そのまま必死で食らいつきます。中盤を越えた二宮の地点では、個人区間2位のタイムで通過。後続

# 獲得! 総合8位で箱根路10区間を駆け抜けました!

次回大会に3年連続で出場することが確定しました。本学がシード権を獲得するのは41年振り3度目。昨年の総合22位からの奇跡とも呼べる大躍進となりました。新春早々から大きな感動に包まれた10区間のレースを、もう1度振り返ります。

との差を広げていきます。さすがに後半は疲れが出て城西大に抜かれたものの、早大を再び振り切る力走を見せ、総合8位の順位をキープしたまま8区に襷をリレー。個人区間5位の走りで、シード権を争う11位のチームには4分21秒の差をつけました。

8区で4年生の市岡君から襷を受けたのは1年生の相原君。初の箱根で、“襷の重み”というプレッシャーもあったはずですが、それを感じさせない落ち着いた走りでした。途中で一旦、早大に抜かれそうになりますが、そのまましばらく併走。そして最後には再度突き放して8位の順位をキープし、9区の川村君に襷をつなぎました。

原監督からも“シード権獲得の勝負所”と挙げられていた9区を走るの、2年生の川村君。シード権内の8位で襷を受け取り、復路最長区間の23.2kmへとスタートしました。前半は押さえ気味に走り、マイペースを守ります。ひとつ順位を落とし、後続にもタイムを詰められますが、最後は懸命の走りでシード権内の9位を死守。アンカーの鈴木君に襷を無事に手渡しました。

いよいよ41年振りのシード権獲得の夢が現実に近い、10区の鈴木君は9区までの選手たちの汗が染み込んだ襷を肩にかけ、鶴見の中継所を9番目に走り出しました。シード権争いで気になる総合11位の東海大とは2分21秒差。何が起るかわからない箱根駅伝においては、決してセーフティリードとは言えません。それでも後ろを気にすることなく、前だけを、大手町のゴールだけを見据えて走ります。序盤で10位の日体大に抜かれますが、慌てず日体大について、しばらく併走します。そして、じっくりと余力をためて20km手前でスパートして日体大を振り切り、再び9位に。さらに目の前に見えた明大の背中を必死で追います。この時点で、力強い鈴木君の走りを見て、誰もがシード権獲得を確信しました。残り1km付近で明大をとらえて8位に順位をアップ。そのままゴール目指して最後の気力を振り絞る鈴木君。ゴールが見えるとサングラスを取り、襷を何度も右手で握りしめながら、ガッツポーズで総合8位のゴールテープを切りました。仲間たちと抱き合いながら、シード権獲得を喜び合う陸上競技部の印象的な姿に、青山学院大学の“新たな伝統”の始まりを感じました。

目標にしていた10位を上回る、総合8位という成績を残せました。選手たちは本当によくやってくれたと思います。特に1区を任せた1年生の出岐は、期待以上の動きをしてくれました。もともと彼を抜擢したのは、1区で予想されていたスピード勝負について行ける力があると見込んだからです。自身の5000メートルのベストタイムより速いペースについて行ったのには、正直驚きました。1区で作った「流れ」に乗って、2区以降の選手たちも必死で襷をつないだからこそ、最後までシード権内の順位を維持できたのでしょう。



原 晋 監督

今回は「箱根でのシード権獲得」というひとつのステージをクリアできました。今後は、箱根駅伝の常連校、上位校として実績を築いていけるよう、今回の経験を糧にチームをさらにレベルアップさせていくつもりです。

いつも支えていただいている皆様のご期待に応えられるよう、チームはさらに前進していきます。あたたかご声援ありがとうございました。

復路  
箱根・芦ノ湖～大手町  
5時間42分06秒  
復路11位



7区 小田原～平塚 (21.3km)

市岡 敬介 (国際政治経済学部4年)  
総合8位 (区間5位) 1時間06分08秒  
何度も諦めた夢の舞台。思い切り楽しめました。

6区 箱根～小田原 (20.8km)

小川 恭正 (国際政治経済学部3年)  
総合7位 (区間7位) 1時間00分50秒  
復路の「流れ」を作れるよう、懸命に山を下りました。



8区 平塚～戸塚 (21.5km)

相原 征帆 (総合文化政策学部1年)  
総合8位 (区間8位) 1時間07分51秒  
はじめは不安もありましたが、なんとか走り切りました。



9区 戸塚～鶴見 (23.2km)

川村 駿吾 (法学部2年)  
総合9位 (区間15位)  
1時間13分45秒  
みんなでシード権を取れたのが、何よりもうれしいです。



10区 鶴見～大手町 (23.1km)

鈴木 惇司 (理工学部3年)  
総合8位 (区間12位)  
1時間13分32秒  
アンカーとして箱根駅伝を走れたことを誇らしく思います。



写真提供: 新聞編集委員会  
卒業アルバム委員会  
青山スポーツ

## 総合順位

順位	往路					復路				
	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

## 文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」に、3件の取り組み事業が採択されました。

2009年度の文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」において、以下の取り組み事業3件が採択されました。

- 組織的な大学院教育改革推進プログラム「グローバル・エキスパート養成プログラム」
- 戦略的大学連携支援プログラム「大学間連携によるマネジメント教育プログラムの質の共有化と相互評価システムの開発」
- 学生支援推進プログラム「人材ニーズと学生意識との格差解消による適職発見支援」

それぞれの本学担当者に取り組みの概要を聞きました。

### 組織的な大学院教育改革推進プログラム グローバル・エキスパート養成プログラム



国際政治経済学研究科長  
仙波 憲一

大学院国際政治経済学研究科では、外交官や国際公務員などの国際機関専門職員として活躍できる人材育成を見据えた「グローバル・エキスパート・プログラム(GLEP)」を2010年度からスタートします。従来、国際キャリアを目指す人の多くは、海外の大学院に留学するなど、その視線は国外に向けられることがほとんどでした。しかし、国際機構専門職員養成に特化したGLEPの開設により、青山

の地に居ながらにして、国際キャリアへの道が開けることになります。本プログラムでは、「理論科目」「実務家担当科目群」「研修科目群」の3つの柱からなる実践的カリキュラムを用意。高度な理論的分析能力とともに、現場のわかる実践的感覚を身につけます。そして同時に、国際社会での活躍に必須となる語学力の向上もサポート。ネイティブによる文章作成能力支援講座を開講し、英語による研究発表の場も積極的に設ける予定です。これまでの大学院と言えば、「研究」のイメージがありましたが、しかし、本研究科の「グローバル・エキスパート・プログラム」は、“人材養成”の視点からの取り組みです。国際社会に貢献できる人材を一人でも多く送り出していきたいと思えます。

### 戦略的大学連携支援プログラム 大学間連携によるマネジメント教育プログラムの質の共有化と相互評価システムの開発



国際マネジメント研究科長  
高橋 文郎

この取り組みは、連携する本学、南山大学、関西学院大学がそれぞれ備える、特色あるマネジメントMBA教育プログラムの共有化の推進によって、“マネジメント力”に優れた人材を育成するとともに、その教育プログラムの質を保证するための「相互評価システム」の開発を目指すものです。お互いに建設的な意見交換を通じて個々のプログラムの精度を高めること、積極的な活動によって国内の産業界に

MBA取得の優位性をアピールすること、そして“マネジメント力に優れた人材育成”を実現するための教育の質保証を実行できる相互評価システムを開発することの3点が、事業の中心となります。こうした取り組みの推進によって、全国の経営専門職大学院が適正な評価を受けることで評価に基づいた改善を実施し、それが経営専門職大学院全体の質の向上にもつながっていくはず。これからの時代を担っていくリーダーには、他の意見も取り入れて協調していく「謙虚さ」が必要だと思えます。「謙虚さ」はキリスト教精神にも通じますが、今回連携する3大学はキリスト教精神を背景にしていることもあり、お互いに理解し合いながら、一歩ずつ確実に成果をあげていくつもりです。

### 学生支援推進プログラム 人材ニーズと学生意識との格差解消による適職発見支援



就職部長  
港 徹雄  
国際政治経済学部教授

本プロジェクトでは、近年の就職活動で重要視されるエントリーシートの作成に関して、学生たちに徹底した自己分析をうながし、企業側の人材ニーズに適合した自己アピールを学生がエントリーシート上に表現できるシステムづくりを目的としています。学生へのこうしたアドバイスは、進路・就職センターのスタッフが従来より行っていましたが、毎年4,000人前後の卒業生を輩出する本学の就職活動にお

いて、個々の学生への指導は物理的に不可能です。そこで、外部の専門機関と連携し、インターネットを活用した“エントリーシート添削システム「Myカルテ」”を構築しました。「Myカルテ」では、大きく3段階の手順で自分がエントリーシートにアピールすべき情報を整理します。まず“Myヒストリー”で自分についての情報を整理した後、“Myポジション”で企業への自己PRのポイントを整理。そして“Myビジョン”で志望する企業ごとに志望動機を整理します。こうした段階を経て作成したエントリーシートをプロがチェックして添削。細かなアドバイスを学生に送り返すのです。学生たちの“適職発見”をサポートするこのシステムを、ぜひ多くの学生に活用していただきたいと思えます。

## 2010年「全日本 学生フォーミュラ大会」を目指し、青学レーシングカープロジェクトが始動!

学生の“ものづくり育成の場”として毎年秋に開催されている「全日本 学生フォーミュラ大会」。全国の大学のプロジェクトチームが自慢のマシンを持ち寄り、年々盛り上がりを見せている大会です。このたび、理工学研究科が大学院GPの一環として取り組む「理工学研究科RA制度」において、全日本学生フォーミュラ大会参戦プロジェクトが正式に採択。立案者である大学院理工学研究科1年の加藤祐樹さんをチームリーダーとするプロジェクトチームAGRC (AOYAMA GAKUIN UNIV. RACING CARS Inc.) が発足し、2010年の大会参加を目指します。



大学院理工学研究科  
機械創造コース1年  
加藤 祐樹さん

プロジェクトの参加メンバーは、佐久田博司教授と林光一教授のアド・グルが母体です。ここには理工学部だけでなく文系の学生も参加しており、主にマネジメント部門で活躍しています。車を組み立てるだけでなく、スポンサーを探したり、コストを管理したりなど、学生フォーミュラ大会には総合的な活動が必要となるため、文系の人たちの能力や知識も貴重な戦力なのです。

また、単にスピードを競うレースとは異なり、この大会ではデザイン面も重視されます。斬新なマシンフォルムやエンジンレイアウトの工夫によって、これまでになかったマシンを作り上げるつもりです。マシンの完成時には、お披露目の“発表会”も計画していますので、ぜひご期待ください。

理工学研究科RA制度は、院生が自身の興味・関心から選んだ主体的な研究テーマへのチャレンジ、および成果へ向けた取り組みをサポートする本研究科独自の制度で、“実践応用力の養成”を大きな目的に掲げています。今回のレーシングカーを製作するプロジェクトは、院生や学生にとって理想的な実践の場と言えるでしょう。本学部ではこれまでもソーラーカーやエコカーなどの自動車に関する研究実績を残してきました。本プロジェクトでも、きっと大きな成果が得られると期待しています。



理工学部  
情報テクノロジー学科  
佐久田 博司 教授

■AGRC <http://www.intercast.co.jp/agrc/>



## 本学とも縁の深い「日米学生会議」に、国際政治経済学部の安藤 歩美さんが参加しました。



国際政治経済学部  
国際政治学科3年  
安藤 歩美さん

2009年7月28日(火)～8月21日(金)に行われた「日米学生会議」に参加しました。この会議は、日米それぞれ36名、計72名の大学生が約1カ月間にわたって共同生活し、その間、お互いに議論を戦わせながら相互理解を深めるものです。毎年日米交互で開催されますが、今年は日本(東京、函館、長野、京都)が舞台でした。

米国の学生と接してみても、異なる環境で生まれ育った文化の違いを強く実感しました。個人的な感想かもしれませんが、米国側は何でも積極的に「結論を出そう」と話をドンデン展開します。一方で日本側は、まず政策面を整えてから実行に移そうと慎重論になりがち。そのため討論では何度も衝突しました。

また、こうした傾向は、通常の“発言”にも影響します。もともと会議では英語を使うので、米国側にアドバンテージがあるのですが、とにかく思いつくことを次から次に発言する米国の学生に対し、こちらは、真意を伝えようと思えば思うほど、言葉選びが慎重になり、なかなか発言できないのです。後からじっくり

考えれば、発言内容は間違いなく日本側の方が優れているのに、その場の勢いで言い負かされる場面が多く、少し歯がゆい思いもしました。

それでも約1カ月間、72名でさまざまな意見をぶつけ合い、日を追うごとに仲間意識、さらにはお互いの信頼関係が生まれました。日米を問わず多くの新しい友人が出来るなど、通常の学生生活では体験できない、本当に貴重な1カ月間だったと思います。青学の先輩が礎を築き、第1回目の日米学生会議は本学で開催されたのですが、そんな会議に、節目となる75周年の年に参加できたのも何かの縁かもしれません。来年度以降も多くの青学の学生が参加し、私同様に貴重な経験をしてもらいたいです。



## 日本学生記録更新、関東インカレ優勝、国体出場など、今年度も数々の好成績を残した“ハードラー”たちに聞く。

陸上のトラック競技は、毎年ゴールデンウィーク前後からシーズンに突入り、全国各地で大小さまざまな大会、記録会が行われます。本学の陸上競技部短距離ブロックも今年度は数々の大会で優秀な成績を残しましたが、とくにハードル陣の活躍は目覚ましく、来年度以降にも大きな期待を抱かせてくれる内容でした。今回は、女子100mハードルにおいて、日本選手権で学生記録

の更新を果たした城下麗奈さん、関東インカレで優勝した川船愛美さん、全日本インカレで3位に入った上田美鈴さん、そして男子110mハードルで関東インカレ優勝の佐藤大志くんの4名のハードラーに今シーズンを振り返っていただくとともに、陸上競技部短距離の安井年文監督に“ハードルに強い青学”の秘密をお聞きしました。

### 陸上競技部 短距離監督 安井 年文

陸上競技部の短距離チームでは、少人数制を基本に、一人ひとりの能力や人間性を把握したうえで、個人ごとに適した練習メニューを用意。文字通りマンツーマンの指導で個々のレベルアップを目指しています。とくに、ただ走るスピードを追求するだけではなく、“跳ぶ”という作業が加わるハードル競技は、練習法にもさまざまな工夫が必要。どのくらいの割合で“跳ぶ”練習を組み込むべきかをデータ解析で導いたり、個々の体調に応じてハードルの高さや置く間隔を



変えてみたりなど、繊細な調整を行います。そして、こうした練習メニューは、選手全員に画一的に指示するのではなく、個々の選手と相談したうえで、一人ひとりに細かく設定。選手たちが気持ちよく練習に集中できる環境を作ることが、我々の最大の仕事なのです。本学において城下が大きく飛躍し、続いて川船も学生を代表するハードラーへと成長してくれました。トップクラスの選手がすぐ身近にいるのは、下級生たちにとって刺激的な環境です。これからも大いに刺激しあい、陸上競技部全体のレベルアップにつなげてもらいたいと思います。

### 経済学部経済学科4年 城下 麗奈さん

大学入学時から目標だったユニバーシアードに、4年間出場する機会がなく、今年度はあえて2単位を落として“5年目の正直”にかけたシーズンでした。ただ春先に思ったようにタイムが伸びず、結局出場の夢は叶わないまま。そんな夢が破れた直後の日本選手権で決勝まで進み、自己ベストと同時に日本学生記録となる13秒



26のタイムで3位に入ることができました。正直、あと少し早くこのタイムで走れていれば、ユニバーシアードに出場できたのに…とは思いますが、大学5年目にタイムを伸ばせたことは、自分自身の成長を再確認できましたし、私のマイペースを容認して支えてくださった安井監督をはじめ陸上競技部の方々に感謝の気持ちでいっぱい。今後は、自己ベスト前後の記録をコンスタントに出せる安定感を身につけ、日本記録13秒00の更新に挑みたいと思います。

### 経済学部経済学科3年 川船 愛美さん

今年度は春の最初のレースで自己ベストに0.01秒と迫るタイムを出せたので、大きな手応えを感じていました。その後も、追い風参考ながら自己ベストタイの記録が出たり、関東インカレでは悪コンディションでタイムが伸びないなかで優勝できたり、記録的にも成績的にも“絶対いいシーズンになる”と思っていたんです。ところが関



東インカレの後に肉離れを起こし、結局その後はケガを引きずる形で、満足のいく成績を残せずにシーズン終了。春先の好調さを考えると、本当に悔しいシーズンでした。来年度は大学生最後のシーズンですし、今年やり残したことがたくさんあるので、絶対に“リベンジ”します。自己ベストの更新や学生チャンピオンはもちろん、6月の日本選手権でも決勝に進み、日本一になることが最大目標です。全力で頑張りますので、来シーズンはぜひ応援に来てください。

### 理工学部化学・生命科学科1年 佐藤 大志くん

大学ではハードルを続けるとともに、生命科学についても学びたいと考え、青学の理工学部一般入試で進学しました。受験勉強で半年ほどブランクがあったので、競技の方は不安がありましたが、春の関東インカレで優勝でき、「大学でもやれる」と自信を持ってました。その後、秋の国体の選考会を兼ねた神奈川県選



手権で自己ベストを更新するなど、監督やコーチの指導のもとで自分がやっていることは間違いではないと、自分でも成長を実感。でも国体の本番や全日本インカレといった大きな舞台で必要以上に力んでしまい、思うようなタイムが出せなかったことが悔やまれます。自信を持てた部分、反省すべき部分、いろいろと体験できた大学1年目でしたが、今後さらに大きな舞台で自分の力をすべて発揮できるよう、レベルアップに取り組みしたいと思います。

### 経済学部経済学科1年 上田 美鈴さん

福井の高校から青学にやってきて、初めての一人暮らしなど、生活環境が大きく変わりました。そんななかで、高校3年生のときには出せなかった自己ベストを2年振りに更新。大学1年生の間にここまで良くなるとは思っていなかったの自分でも驚いています。監督、コーチ、先輩方、そして一緒に競いあっている同級生



たちのおかげです。春の関東インカレは6位でしたが、秋の全日本インカレでは3位、しかも準決勝で自己ベスト更新と、徐々に成長できた1年間には満足しています。ただ高校3年生のインターハイでも4位など、これまでの競技生活で2位、3位、4位が多く、まだ大きな大会で1番になったことがないんです。大学でシニアクラスのレベルの高さも肌で体感できましたし、もっと練習を重ね、大学生の間に、絶対に全国1位になりたいです。

## 第61回全日本大学バスケットボール選手権大会で、男子バスケットボール部が第3位を獲得。

秋の関東大学リーグ戦3連覇を逃し、第3位の結果に終わった男子バスケットボール部は、リーグ戦の鬱憤を晴らすべく、全日本大学バスケットボール選手権(全日本インカレ/12月2日～6日)での2年振りの王者奪還を目指しました。1回戦(対関西大学94-79)、2回戦(対専修大学105-94)、準々決勝(対天理大学71-67)と順調に勝ち進みましたが、準決勝で慶應義塾大学に99-113で敗退。大学日本一はなりませんでしたが、それでも翌日の3位決定戦では宿敵の東海大学に98-86で勝利。昨年に引き続いて第3位の成績を残しました。

男子バスケットボール部の長谷川健志監督に全日本インカレの総評を聞きました。



男子バスケットボール部  
監督  
長谷川 健志

全日本インカレでは優勝を目標に掲げていたので、今回の3位の結果には決して満足していません。ただし、今年1年戦ってきて実感したのは、全国の上位校のレベルが想像以上に拮抗していたことです。関東のリーグ戦をみても、開幕前から“戦国のシーズン”と言われていた通り、例年のように全勝で勝ち抜けるようなチームはありませんでした。我々も安定感にかけたゲームを繰り返し、その修正ができないままリーグ戦は3位で終了。全日本インカレでの巻き返しを誓いました。

リーグ戦での悔しさをバネに練習に取り組んだ選手たちは、全日本インカレまでの1カ月で、かなり成長できたと感じました。最もその手応えを感じたのは、準々決勝の天理大学戦。身長2m前後の選手を複数名備え、高さでは大学No.1とも呼ばれるチームを相手に、攻め込まれるシーンが多いながらも耐えに耐えて、ラスト4分30秒で逆転勝利をおさめました。“サイズの大きくない我々が、高さのある相手をどう克服するか”が、今期のチーム最大のテーマだったので、その成果を形にできたことは胸を張れると思います。

続く準決勝では慶應義塾大学に敗れましたが、完敗ではなく、両者譲らぬ展開で、どちらが勝ってもおかしくないゲームでした。もちろん負けたことは悔しく、反省点も多々ありますが、選手たちは納得できるゲームをしてくれたと思います。

なお、シーズン最後の公式戦となる全日本総合バスケットボール選手権大会では、1月2日の2回戦で愛媛教員クラブに92-67で勝利し、翌3日の3回戦でJBLのトヨタ自動車アルバルクと対戦。第1ピリオドでリードを奪うなど善戦するも、結局は97-108で敗れました。トヨタは正中、岡田、熊谷、荒尾といった青学OBが活躍していることもあり、学生たちも良い刺激になったことでしょう。

各大学の実力伯仲のシーズンは来年度も続くはず。我々もさらなる進化を遂げ、来年こそは再度、「日本一」を狙いたいと思います。スピーディで迫力があり、観客を魅了する青学ならではのバスケットボールをお見せしますので、来年度も大きなご声援をお願いします。

## アイスホッケー部がリーグ1部に昇格! ラグビー部、アメフト部は昇格ならず。

今年度も学友会体育連合会の所属団体は、数々の優秀な戦績を残していますが、とくに目立ったのが、各競技の2部リーグに所属している団体の活躍でした。アイスホッケー部、ラグビー部が2部で優勝。アメリカンフットボール部も2部で2位に入り、それぞれ1部との入替戦に臨みました。

関東大学アイスホッケーリーグのディビジョンII(2部)に所属するアイスホッケー部は、今季7戦全勝でディビジョンIIを優勝。11月28日(土)にディビジョンI-Bグループ6位の東海大学との入替戦を行いました。各20分の第3ピリオド制で実施されるアイスホッケーの試合、青学は0-0のまま迎えた第2ピリオド9分28秒、三村勇人君(文学部3年)が先制ゴール。さらに最終第3ピリオドの3分39秒、林元軌君(社会情報学部1年)が貴重な追加点となるゴールをあげました。その後、8分26秒に東海大に1点差に迫られ、なおも執拗な攻撃を受けますが、何とかしのぎきって2-1で試合終了。昨年は2部降格で悔し涙を流しましたが、1年後に見事1部に再昇格し、うれし涙での振り返りとなりました。

ラグビー部も関東大学対抗戦Bグループ(2部)で他校を寄せ付けずに全勝優勝。12月12日(土)にAグループ8位の立教大学との入替戦に挑みました。実は本学と立



教大は3年連続の入替戦での対決。2年前には1部だった本学が立教大に敗れて2部降格、昨年はノーサイド寸前までリードしていたものの、ロスタイムに逆転のペナルティキックを奪われて再昇格ならず。「今年こそ」の思いを胸に伊藤真主将(理工学部4年)をはじめ全力のプレーを見せました。しかし、フォワードとバックスの攻撃がうまくみ合わず、7対24で敗退。今年も1部昇格はなりませんでしたが、

またアメリカンフットボール部も関東学生リーグ2部Bブロック2位で入替戦への出場権を獲得。創部初の1部昇格を目指してリーグ1部Bブロック7位の専修大学と12月20日(日)に対戦しました。前評判では専修大が優位と言われるなか、青学は大善戦。7-12の5点差で迎えた最終第4クォーター開始早々に、この試合2本目となる井上泰輔君(理工学部4年)から天野貴之君(理工学部4年)へのパスが通って13-12と逆転。このまま逃げ切りかけたものの、試

合終了間際、専修大にフィールドゴールを決められ13-15と再逆転を許し、初の1部の夢は果たせませんでした。

その他の競技を含め、上位リーグに昇格したチーム、残留したチーム、降格したチームそれぞれに新しい1年がスタートすると思いますが、来年度のさらなる活躍に期待します。

## 青山学院創立135周年・青山学院大学開設60周年記念 国際会議「冷戦終焉20年、鉄のカーテン解体からベルリンの壁崩壊へ」

2009年11月22日(日)、青山学院大学総研ビル12階の大会議室で「冷戦終焉20年、鉄のカーテン解体からベルリンの壁崩壊へ」と題する国際会議が、歴史を変えた5カ国の政権担当者・指導者を迎えて開催されました。これは、青山学院大学に加え、27カ国欧州委員会代表部と5大使



館(オーストリア、ドイツ、ハンガリー、リトアニア、ポーランド)、朝日新聞社、東京大学(DESU)の共催、日本外務省の後援によるもので、全国から300名を超える参加者があり、大盛会となりました。

伊藤定良学長、EC代表部ルディ・フィロニー等書記官、外務省福嶋教輝参事官の挨拶に続き、第1部の講演会では、ヴィータウタス・ランズベルギス元リトアニア国家元首、ヴェラ・ランズフェルト元ドイツ国会議員、ヤドヴィガ・スタニスクス元ポーランド連帯指導者、アンドラーシュ・オブラトカ・ウィーン大学教授、トーマス・ロイドル・オーストリア大使館全権公使が、それぞれ、バルトの「人間の鎖」、東独の「民主化」、ポーランド連帯の10年、ヨーロッパ・ピクニック計画と「鉄のカーテン」解放について、20年前の歴史の転換を彷彿させる、臨場感溢れる素晴らしい講演を行いました。

その後、第2部では、歴史を転換させたVIP5名と国際政治経済学部山本吉宣教授によるパネルディスカッションが、朝日新聞元欧州総局長大野博人氏、国際政治経済学部羽場久美子教授の司会により行われました。フロアからは、30近い質問が出され、東欧革命の意義、解放・独立とEU加盟、イラク戦争と「新しいヨーロッパ」、昨年の金融危機を経て市民は今どのように考えているかなどについて、活発な討論と質疑が行われました。本学と欧州委員会代表部が共催したレセプションにも、ドイツ、ポーランド、ハンガリー、リトアニアの大使らと参事官・公使、研究者、報道関係者が集い、熱い討論と交流が繰り広げられました。

## 公共選択学会「学生の集い」において、 経済学部 中村ゼミの学生が、同ゼミ4連覇となる最優秀賞を獲得

公共選択学会が主催する第12回「学生の集い」が、2009年10月31日(土)、11月1日(日)の2日間、関西学院大学を舞台に開催されました。この「学生の集い」は、出題されるテーマに沿って大学生チームが論文をまとめ、さらにプレゼンテーションを行い、参加大学の教員による審査員がその内容を評価するものです。

経済学部の中村まづる教授のゼミでは、同イベントに第2回大会から参加。昨年まで3年連続で最優秀賞を受賞しています。そして今年も「世界金融危機下での経済再生を問う」がテーマとなった3年生の部に2チーム(Fパート、Aパート)が出場し、Fパートが見事に中村ゼミ4連覇となる最優秀賞を獲得しました。

最優秀賞Fパートのリーダーを務めた古川将寛君は、「論文をまとめるための作業工程や役割分担などをしっかり決めました。途中で意見の対立もありましたが、方向性が明確だったので4人全員が納得できる論文が完成。先輩たちに続けてホッとしています」と話します。

また、Aパートも入賞。リーダーの油野恭介君は、「提出期限4日前まで悩み抜き、最後は3人で連日徹夜して論文を仕上げました。論文はギリギリでしたが、プレゼンは自分たちの主張を100%伝えられたと思います。最優秀賞が獲れず残念ですが、最後まであきらめずやり遂げたことは、大きな自信になりました」とのことでした。

ゼミ生による4連覇を達成した中村教授は、「Fパートは計画的で、自分たちで掲げた工程通りにしっかりと作業を進行しました。そんなコツコツ

と積み重ねていく努力が認められての最優秀賞。私もうれしかったですね。一方のAパートは、論文完成までにかかなり遠回りをしました。最後は“駆け込み”で間に合わせましたが、自分たちの意見への“こだわり”が回り道の原因だったので、プレゼンテーションは論理的で分かりやすく、そこが認められての入賞だったと思います。最後まであきらめずに課題に取り組んだ両チームの学生たちの姿勢は、きっと社会でも評価されるはずですよ」と振り返りました。



前列中村まづる教授。後列左から、Fパート渡會弘基君、原田雅章君、植野千鶴さん、古川将寛君、Aパート油野恭介君、篠田誠治君、松永直樹君



## 大学院国際マネジメント研究科主催による「第1回青山MBAフォーラム」が開催されました



大学院国際マネジメント研究科（青山ビジネススクール）は、2009年10月10日（土）に第1回青山MBAフォーラム「世界金融危機後のビジネススクールの役割」を開催しました。

まず、東京大学大学院経済学研究科の小林孝雄教授（写真上）が基調報告を行い、今回の世界金融危機は、米国の住宅価格バブル、米国の消費拡大と中国の経済成長に伴う両国間の貿易・資本循環の拡大、サブプライム・ローンの証券化に伴う米国の短期金融市場の状況変化という3つの要因によって引き起こされたことをわかりやすく説明しました。

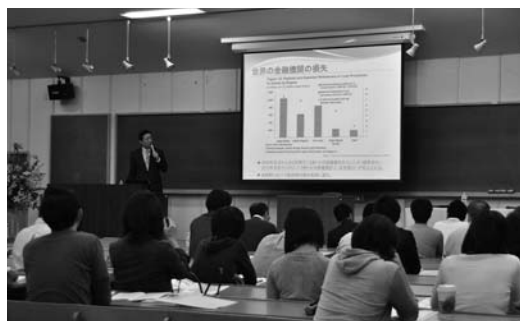
次いで、国際マネジメント研究科の北川哲雄教授の司会により、同研究科の高橋文郎教授・研究科長をまじえての討論が行われました。高橋教授は、小林教授の基調報告を受けて、今回の金融危機の背後には、資本主義経済や金融資本市場の不安定な体質があり、これらは今後の重要な研究課題であると主張しました。

討論の中では、今回の金融危

機の引き金となったサブプライム・ローンの証券化や金融工学の功罪も議論になり、小林教授は、証券化自体は経済全体のリスク吸収能力を高める役割を果たすが、金融機関や格付機関のモラル・ハザードが問題を引き起こしたこと、金融工学が本来の役割を果たすためにはリスクをきちんと計量するモデルの開発が課題であることを主張しました。

これを受けて、高橋教授は、金融工学が多大な影響を社会に及ぼすが故に、金融専門家には自分が行っているビジネスが社会にとって本当に必要なものなのか否かを判断するモラルや倫理が必要であることを主張し、ビジネススクールは豊かな人間性を持つ謙虚なビジネスリーダーの育成に力を入れねばならないことを強調しました。

最後に、会場からの質疑も行われ、会場参加者も含めて熱のこもった討論の場となりました。



## 「経済学部創立60周年記念シンポジウム」開催報告

経済学部は学部創立60周年記念事業の一環として、2009年11月7日（土）にガウチャー・メモリアル・ホールにて記念シンポジウムを開催しました。これは、経済学部同窓会創立10周年記念事業の一環でもあります。



シンポジウムは2部構成で、平澤典男学部長による挨拶の後、第1部として、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科の青山侑（ヤスシ）教授（写真上）が、「進化する都市と大学—キャンパスを共有する道」というテーマで基調講演を行いました。青山教授は、元東京都副都知事という経験と明治大学で行っている大学と社会との連携活動の経験に基づき、第2部のパネルディスカッションに向けていくつかの問題提起を行いました。

第2部では、経済学部を卒業した4市長をパネリストとして迎え、「グローバル化時代の地域社会像—自治体と大学の連携を通して」というテーマでパネルディスカッションを行いました。まず経済学部の須田昌弥教授が4市の簡単な紹介を行った後、卒業順に斎藤文夫日光市長（1967年度卒）、朝長則男佐世保市長（1971年度卒）、岡崎誠也高知市長（1975年度卒）、中田宏前横浜市長（1989年度卒）が各市の現状について、より詳細な報告を行いました。ここでは、市町村合併への対応、まちづくり、

環境対策、財政をめぐる対応等、時事的な課題に関する取り組みについての説明が行われました。母校に帰ったなつかしさと後輩にあたる卒業生や現役の学生に向けての講演のためか、各市長とも熱のこもった講演となりました。

その後、経済学部の高橋重雄教授と堀場勇夫教授の司会のもと、基調講演者と4市長を交え意見交換を行いました。予定時間を30分ほど超えてのディスカッションとなりましたが、それでも時間が不足、フロアからの質問を受けることができなかったのは残念でした。このパネルディスカッションを、本学経済学部が自治体との連携に取り組む契機としたいとの言葉で、シンポジウムが締めくくられました。



## 読書教養講座 公開授業 京極 夏彦氏の講演会「抽象力」を開催

2009年10月10日(土)、21世紀活字文化プロジェクトによる「読書教養講座」の公開授業(主催:活字文化推進会議、青山学院大学、主管:読売新聞社)が、本学ガウチャー・メモリアル・ホールにて開催され、学生や市民約700人が参加しました。



本年は江戸時代の怪異小説『雨月物語』で有名な上田秋成の没後200年に当たります。本講演会は、この機会に本学の「日本文学特講」の授業に、江戸の怪異にまつわる小説をお書きになっている作家京極夏彦氏をお招きし、一般の方々にも開放したものです。

講師を務めた京極氏は、1994年『姑獲鳥の夏』でデビュー、『魍魎の匣』で日本推理作家協会賞、『嗤う伊右衛門』で泉鏡花文学賞、『覗き小平次』で山本周五郎賞、2004年には『後巷説百物語』で直木賞を受賞、以後、現在に至るまで百鬼夜行シリーズや百物語シリーズなどで多くのファンを魅了しています。

京極氏は「抽象力」と題して、日本人が概念を抽象化・象徴化し、実態を持たせて遊ぶという知的遊戯性を強く持っていたこと、例えば、「不思議だ、怖い」ということが起きたとき、お化けや妖怪のせいにして不安を解消する術を知っていた、非日常を日常の中に取り込んで生活する作

法を知っていた、とお話になりました。ネガティブな人は怪談を読み、自分の方が恵まれていると自身を慰め、ポジティブな人は妖怪で遊んで楽しむことが、江戸時代に培われた「抽象力」で日常生活を健全に送るための智慧であると締めくくられました。

また本学の文学部日本文学科 大屋多詠子准教授との対談では、曲亭馬琴など江戸読本の小説方法と絡め、京極氏がごく短時間に作品の構想を練りあげること、馬琴は挿絵についても細かな指示を出しているが、これは書籍を商品と考えていたためであり、京極氏も同様の意識が強いことなど、作品執筆にまつわるお話を伺いました。



## 2009年度 青山学院学術褒賞受賞者決定

文学部日本文学科	矢島 泉 教授	『古事記の歴史意識』
法学部法学科	大石 紘一郎 教授	『オウム真理教の政治学』
経営学部経営学科	山本 寛 教授	『人材定着のマネジメント—経営組織のリテンション研究—』
理工学部機械創造工学科	渡邊 昌宏 准教授	薄膜フィルムに発生する流れ励起振動の非接触振動制御に関する研究

## News Index 2009.10~12

2009年10月から12月までの大学ウェブサイト「新着情報」の主なタイトルを掲載しています。

### 09年10月

- 糸井充穂 理工学部(物理・数理学科)助教が、財団法人伊藤科学振興会の平成21年度研究助成者に選ばれました
- 文学部日本文学科 日置俊次ゼミの学生が、第三回全日本ジュニア短歌大会に入賞しました
- 文部科学省 国公私立大学を通じた大学教育改革の支援において、本学より3件の取組事業が採択されました
- 陸上競技部2年連続の箱根駅伝への出場が決定!
- 青山学院大学 韓国リエンソンオフィスが設置されました
- 「日本—ベトナム学長会議」と台湾・淡江大学に設けた本学サテライトオフィス開所式に伊藤定良学長が出席しました
- 「Network Skills Competition 2009」で情報科学研究センターのチームが最優秀賞を獲得しました
- ヨミウリオンライン「青山学院スタイル2009」を更新しました

### 09年11月

- アル・ファラビ・カザフ民族大学創立75周年の記念式典に出席
- 陸上競技部が全日本大学駅伝に初出場。伊勢路を15位の成績で駆け抜けました
- 一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験要項(願書)の販売について
- フェンシング部 一柳風未さんが関東学生フェンシング選手権大会で準優勝!
- 理工学部 福岡伸一教授の研究が科学専門誌ネイチャーに掲載されました
- 大学A棟新築工事竣工式が行われました

### 09年12月

- 「Investment Research Challenge Japan 2009」で青山学院大学チームが特別賞(第2位)を受賞!
- 箱根駅伝応援サイトが開設されました
- ヨミウリオンライン「青山学院スタイル2009」を更新しました
- 男子バスケットボール部 全日本大学選手権 第3位
- 組織的な大学院教育推進プログラム「外部評価委員会」が開催されました
- 国際シンポジウム「世界で活躍できる理工系人材の育成」が開催されました
- 箱根駅伝出場に伴う壮行会(12/15)のお知らせ
- アイスホッケー部 入替戦で勝利し1部昇格
- 先端ロボット工学合同ワークショップにて、山口博明准教授研究室学生が受賞
- 平成21年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」に参加します
- 12/17放映のNHK「英語でしゃべらナイトリターンズ」に本学学生が出演します

# 2010年度学事暦（学部）

※大学院生は掲示板等を参照してください。

## 前期

4月1日(木)	オリエンテーション、履修ガイダンス、健康診断 (8日(木)まで)
4月3日(土)	入学式(学部・大学院)
4月9日(金)	前期授業開始 新入生歓迎礼拝(15日(木)まで)(相模原)
4月13日(火)	新入生歓迎礼拝(第二部)
4月19日(月)	履修登録最終日(青山屋間部)
4月20日(火)	履修登録最終日(相模原、第二部)
4月29日(木)	昭和の日は授業実施日
5月24日(月)	前期チャペル・ウィーク(29日(土)まで) ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝(相模原、青山屋間部) ペンテコステ礼拝(相模原、青山屋間部)
5月25日(火)	ペンテコステ礼拝(第二部)
6月19日(土)	アドバイザー・グループ・デー(全キャンパス休講)
7月15日(木)	補講日(16日(金)まで)(相模原、青山屋間部、第二部)
7月19日(月)	海の日は授業実施日
7月23日(金)	前期定期試験期間(8月5日(木)まで)
7月26日(月)	補講日(28日(水)まで)(第二部のみ)
8月5日(木)	清里サマー・カレッジ(8月7日(土)まで)
8月6日(金)	夏期休業期間(9月18日(土)まで)
9月25日(土)	9月学部・大学院学位授与式

## 後期

9月21日(火)	後期授業開始
10月9日(土)	相模原祭(10日(日)まで)(9日(土)は相模原キャンパスのみ休講)
10月11日(月)	体育の日は授業実施日
10月18日(月)	後期チャペル・ウィーク(23日(土)まで)
10月29日(金)	青山祭(10月31日(日)まで)(全キャンパス休講)
11月16日(火)	創立記念日は授業実施日 創立記念礼拝(相模原、青山屋間部、第二部)
11月26日(金)	クリスマス・ツリー点火祭
12月14日(火)	クリスマス礼拝(青山屋間部・第二部合同)
12月16日(木)	クリスマス礼拝(相模原)
12月24日(金)	冬期休業期間(1月5日(水)まで)
1月6日(木)	後期授業再開
1月14日(金)	大学入試センター試験準備日(青山キャンパスのみ休講)
1月15日(土)	大学入試センター試験(16日(日)まで、15日(土)は青山キャンパスのみ休講)
1月18日(火)	補講日(19日(水)まで)(相模原、青山屋間部、第二部)
1月20日(木)	補講日(24日(月)まで)(第二部のみ) 後期定期試験期間(2月2日(水)まで)
3月26日(土)	卒業礼拝、学部・大学院学位授与式

# 2010年度学年初頭行事についてのお知らせ

年度初頭には、各学部・学科ごとに書類配布、履修ガイダンス、学生証更新、健康診断など大切な行事があります。

日時、場所等の詳細は、青山・相模原両キャンパス所属学生とも学生ポータル(1月中旬以降)・学部等掲示板(1月中旬以降青山キャンパスのみ)あるいは大学ウェブサイト(3月中旬以降に掲載)で確認してください。

# 進路・就職関係行事のお知らせ

## 青山キャンパス

行事	対象学年	日程	備考
業界企業研究セミナー	学部3年生 院1年生	2/1(月)~2/3(水)	学生ホール 教室

☆2/5~2/19(土曜日を除く)の期間は、入学試験による入構制限があるため、ウェスレーホール1階で相談業務のみ行います。

## 相模原キャンパス

(理工学部生・理工学研究科生・社会情報学研究科生対象)

行事	対象学年	日程	備考
個別企業説明会	学部3年生 院1年生	2月下旬	詳細は掲示板等を参照

※追加、変更等もありえますので、詳細は必ず学生ポータル・掲示板にて確認してください。  
また、就職の相談は随時受け付けていますので、来室し申し出てください。

## 卒業・修了の決まったみなさんへ 卒業・修了後の進路の報告について

学長 伊藤 定良 / 就職部長 港 徹雄

青山学院大学では、みなさんに修学後の進路を報告していただいています。就職、進学、現職の継続、留学、各種試験受験準備などの報告を、卒業・修了の決定した学部4年生と修士課程修了生全員に提出していただきます。

報告いただいた内容は、進路状況のデータをまとめた「卒業生進路状況報告書」として学内で利用されます。個人の名前や就職先が学外に公表されることは決してありません。また、官公庁などへの統計資料としても必要となりますので、必ず報告してください。

民間企業や公務員・教員などに内定された方には、「就職活動報告書」を提出していただいております。この報告書は、後輩の就職活動に大変役立っておりますので、併せて提出をお願いいたします。

みなさんのこれからの活躍を、ここからお祈りいたします。

### 進路報告書の提出先

青山キャンパス(人文・社会科学系学部)

……………Web Ashで入力、進路・就職センターへ「進路届」を提出

相模原キャンパス(理工学部、理工学研究科、社会情報学研究科社会情報学コース)

……………Web Ashで入力、学生支援ユニット進路グループへ「進路届」を提出

※人文・社会科学系の大学院生については、進路に関する調査用紙が、大学院事務室、専門職大学院事務室に置いてあります。ご協力をお願いいたします。

# 2009年度 ペアレンツウィークエンド実施状況報告

本学では、「大学後援会」の事業活動の一環として、在学生の保護者の皆様に対し、大学の近況をお知らせするとともに、学業成績、学生生活、進路、就職活動等の現況について全体的な説明と個別面談を行う懇談会を開催しています。これは保護者の皆様と大学との密接な関係を図ることを目的として始められた事業です。

## ①キャンパス開催

【全学部1年生の保護者対象懇談会】入学して間もない1年生の保護者の方を対象とした懇談会で、今年度初めての企画となりました。全学部合同で、青山・相模原各キャンパスにおいて、それぞれ実施しました。大学代表者の挨拶、近況報告から始まり、学業や進路、学生生活について、各担当部署から説明がありました。各説明に熱心に耳を傾けている姿が多く見受けられました。「相模原キャンパスを訪れるいい機会に恵まれました。」というご意見が多くありました。ご子女の通われる豊かな環境のキャンパスを実感していただけたことは、保護者の皆様にとって良い機会となったようです。

【学部別懇談会】学部ごとの学業成績や進路就職についての説明に重きを置いた懇談会のため、主に2・3年生の保護者の方にご参加いただきました。特に、就職についての説明には、熱心にメモを取られる姿が印象的でした。その他、学生に就職活動の実体験を話してもらうなど、学部によって工夫を凝らした内容となりました。全体説明会終了後には、個別面談を実施しました。学業成績、就職に関する相談はもちろんのこと、例年、学部によっては留学や教職課程についての質問が多いため、今年度はそれらに関し、分野別説明会を実施した学部もありました。

いずれの懇談会も、全体終了後にはティータイムを企画しました。各学部の教員と、そして保護者の皆様同士、交流を深める場となりました。その他、大学オルガニストによるパイプオルガン演奏を楽しんでいただく企画や、本学法学部の教員による無料法律相談コーナーの設置をしました。パイプオルガン演奏は、「パイプオルガンの音色を聞いてみたい」という、保護者の方からの多数のご意見により実現したものです。今後も、皆様の声を反映し、ペアレンツウィークエンドならではの企画を取り入れていく予定です。

## ②地区開催

全国19カ所の都市で実施しました。今年度の開催都市は別表のとおりです。地区開催では、大学代表者の挨拶および大学近況の報告をし、引き続き各担当から学業成績、就職、学生生活について説明しました。昼食会は、大学関係者と、そして保護者の皆様同士、懇談をする場となりました。校友の方々にご参加いただいた会場では、地元での卒業生の活躍など、心強いお話を聞くことができました。

ペアレンツウィークエンドを通して、より多くの保護者の方々にキャンパスを訪れて欲しいと思っております。遠方のため、キャンパスに来られない方のための地方開催においても、毎年、開催地区の見直しをし、またいただいたご意見をもとに、工夫を凝らした内容を企画する予定です。



▲全学部1年生保護者対象懇談会(ティータイム)

## 地区開催

対象道府県	開催都市	開催日	会場
北海道	札幌	8月2日(日)	ホテルオークラ札幌
	函館	8月1日(土)	ロワジュールホテル函館
宮城	仙台	7月12日(日)	ホテル仙台プラザ
秋田	秋田	8月9日(日)	秋田キャッスルホテル
栃木	宇都宮	7月4日(土)	宇都宮東武ホテルグランデ
群馬	高崎	9月6日(日)	高崎ビューホテル
福井	福井	7月20日(月祝)	ホテルフジタ福井
山梨	甲府	7月18日(土)	常盤ホテル
静岡	静岡	8月29日(土)	ホテルアソシア静岡
愛知	名古屋	8月30日(日)	キャッスルプラザ
京都	京都	8月22日(土)	ホテルグランヴィア京都
鳥取	米子	8月1日(土)	米子全日空ホテル
岡山	岡山	8月23日(日)	ホテルグランヴィア岡山
山口	山口	7月25日(土)	山口グランドホテル
徳島	徳島	9月12日(土)	ホテルクレメント徳島
香川	高松	8月9日(日)	全日空ホテルクレメント高松
福岡	福岡	7月26日(日)	ソラリア西鉄ホテル
熊本	熊本	7月5日(日)	ホテルニューオータニ熊本
沖縄	那覇	7月4日(土)	沖縄都ホテル

## キャンパス開催

対象	開催日	会場	
全学部1年生保護者対象懇談会	5月30日(土)	青山キャンパス	
	6月27日(土)	相模原キャンパス	
(主に2・3年生の保護者対象) 学部別懇談会	文学部、文学部第二部	6月20日(土)	青山キャンパス
	経済学部、経済学部第二部	6月13日(土)	
	法学部	6月6日(土)	
	経営学部、経営学部第二部	6月6日(土)	
	国際政治経済学部	6月20日(土)	相模原キャンパス
	総合文化政策学部	6月13日(土)	
	理工学部	10月10日(土)	
社会情報学部	10月11日(日)		

\*懇談会内容に応じ、ご希望の懇談会にどなたでもご参加いただけます。



◀地区全体説明会(秋田会場)

## Club & Circle Information

\*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。下記大会、演奏会の日程・場所は予定のものです。今後変更になる可能性もあります。

### 主要活動予定(2010年1月~2月)

- アイススケート部(ホッケー部門) 日本学生氷上競技選手権大会本戦(1月)
- アイススケート部(フィギュア部門) 日本学生氷上競技選手権大会(1月)
- 硬式庭球部 関東学生選抜テニストーナメント大会(2月)
- サッカー部 第58回全日本大学サッカー選手権大会(1月)
- 水泳部 東京都新記録会(2月)
- スキー部 全日本学生スキー大会(1月)
- 卓球部 全日本卓球選手権大会(1月)
- バスケットボール部(男子) 第85回全日本総合バスケットボール選手権(1月)
- 陸上競技部 第86回箱根駅伝(1月)
- グリーンハーモニー合唱団 フェアウェルコンサート2010(2月)

【問い合わせ先 〒150-8366 青山学院大学学生部学生課 Tel 03-3409-7835】

### 主要活動報告(2009年10月~12月)

- 硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦(6位)
- 陸上競技部 箱根駅伝予選会(8位)  
全日本大学駅伝(15位)
- バスケットボール部(男子) 第85回関東大学バスケットボールリーグ戦(3位)  
第61回全日本大学バスケットボール選手権大会(3位)
- バレーボール部(女子) 秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦(6位)  
第56回全日本バレーボール大学女子選手権大会(ベスト8)
- ラグビー部 関東大学対抗戦Bグループ(優勝)
- アイスホッケー部 関東大学アイスホッケーリーグ戦ディビジョンII(優勝)  
\*アイスホッケー部は入替戦に勝利して1部昇格
- チアリーディング部 第6回北日本チアリーディングフェスティバル 自由演技部門(優勝)  
パートナーズタンツ女子部門(1位)
- アメリカンフットボール部 関東学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦Bブロック(2位)

# 春期休業中の窓口案内

対象期間 2/3~3/31

詳細は各掲示板をご覧ください。

部署	窓口事務取扱期間	曜日	取扱時間	備考
教務課	2/22~3/31	月~金	9:00~19:00(11:30~12:30は窓口停止)	2/4~2/20は窓口停止 3/4~3/9は科目等履修生時間割開覧のため 11:30~12:30も開室します 4/1より平常通り
		土	9:00~19:00(11:30~14:00は窓口停止)	
教職課程課	3/8~3/31	月~金	9:00~16:00(11:30~12:30は窓口停止)	2/3~3/7は窓口停止 3/10は19:00まで 4/1より平常通り
		土	9:00~11:30	
学生部	2/22~3/31	月~金	9:00~19:00(15:00~16:00は窓口停止)	2/3~2/20,3/27は窓口停止
		土	9:00~11:30	
進路・就職センター	2/3~2/4	月~土	9:00~16:00 (月・水・金は19:00まで、土は12:00まで)	窓口停止時間(月~金)16:00~17:00 資料室は月・水・金19:00、火・木18:00、土13:00まで 利用できません
	2/22~3/31			
図書館	2/3~3/31	月~土	9:00~19:00(但し、入学試験日は開館時間が異なりますのでWebで確認してください)	貸出期限を厳守してください。休館中の本の返却は正面入口脇のブックポストに入れてください
		月~金	9:00~18:30(15:00~16:00は窓口停止)	
大学院事務室	3/10~3/31	月~土	9:00~13:00(11:30~12:30は窓口停止)	2/3~3/9は入学試験業務のため窓口停止
	2/3~2/5	水~金	9:00~20:30	
専門職大学院事務室	2/6~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ13:00まで)	窓口停止時間11:30~12:30
	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	
広報入試センター	2/3~3/31	月~土	9:00~19:00 (入学試験日、システム利用停止日は9:00~17:00)	年度未処理のためシステム利用停止日があります パソコン室開室日は左記と異なります (入学試験日はパソコン室閉室) 詳細についてはWebまたは掲示板参照のこと
		月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで)	
国際交流センター	3/1~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	2/3~2/28は窓口停止 昼休み11:30~12:30
外国語ラボラトリー	3/1~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	2/3~2/28は窓口停止 ※窓口停止時間11:30~12:30 ※施設開室日は、左記と異なりますのでWeb・掲示板参照のこと
学生相談センター	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ11:30まで)	火・金の夜間開室は4/9より 昼休み11:30~12:30
保健管理センター	2/3~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで)	
宗教センター	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	4/9より平常通り

2月3日(水)~2月21日(日)の期間は、2010年度入学試験のため青山キャンパスへの入構が制限されます。この期間に入構の場合は西門または東門の警備室に用件を告げ、許可を得た上で入構してください。

ユニット	グループ	窓口事務取扱期間	曜日	取扱時間	備考
学生支援ユニット	チューデントセンター	2/22~3/31	月~土	9:00~16:00(土のみ11:30まで) 窓口停止時間11:30~12:30	2/3~2/21,3/27(学位授与式)、 4/3(入学式)は窓口停止 4/1より平常通り ※2/3,15,16は追試験業務のみ窓口事務を行います
	学務グループ※				
	進路グループ				
	学生生活グループ				
	国際交流グループ(国際交流センター)				
教育・学習支援ユニット	健康管理グループ(保健管理センター事務室)	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	年度未処理のため利用停止期間があります 詳細についてはWebまたは掲示板参照のこと
	健康管理グループ(学生相談センター事務室)				
	授業支援グループ				
	情報教育支援グループ (情報科学研究センター)				
	図書グループ(図書館)				
メディアライブラリーグループ (外国語ラボラトリー事務室)				詳細についてはWebまたは掲示板参照のこと 4/9より平常通り	
研究支援ユニット	研究支援グループ	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	
底務ユニット	企画・渉外グループ				
施設ユニット	庶務グループ				
財務部	大学相模原経理グループ	2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	現金取り扱い16:00(土のみ11:00)まで
宗教センター		2/3~3/31	月~土	9:00~17:00(土のみ13:00まで)	4/9より平常通り

## 成績の通知について

2009年度卒業決定者および在学生の成績評価は、2010年3月10日(水)より、学生ポータルメニュー「成績通知書」にて通知します(大学院博士後期課程を除く)。学外PCから閲覧する場合は、あらかじめ学内でSecure Matrixパスワードの登録を済ませておく必要があります。(詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。)

また、上記成績通知開示日に、卒業決定者以外の学生の保証人住所宛に「2009年度成績通知書」を送送します(除大学院)。卒業決定者の「成績通知書」は、学位授与式当日、学生本人に配付されます。

## 2009年度学位授与式・卒業礼拝

2009年度学部卒業生および大学院修了生を対象として、3月27日(土)に「学位授与式」「卒業礼拝」が挙行されます。時間・場所に関しましては、大学ホームページ・学生ポータル等でご確認ください。

## 卒業・進級に関するお知らせ

対象	日程	時間	方法
<b>卒業・修了決定者発表</b>			
昼間部	3/10(水)	10:30	学生ポータル
第二部(夜間部)			
理工学研究科			
大学院(除理工学研究科)	研究科により発表日が異なるので大学院事務室または専門職大学院事務室で確認してください		
<b>卒業見込決定者発表(理工学部のみ)</b>			
理工学部	3/10(水)	13:30	学生ポータル
<b>進級決定者発表</b>			
相模原キャンパス在学生(除理工学部)	3/10(水)	13:30	学生ポータル
第二部2年生			

※電話による問い合わせには一切応じておりません。  
 ※卒業・修了生は、必ず2月27日(土)までに借りている図書を図書館へ返却してください。  
 返却されない場合は、学位記をお渡できません。  
 ※卒業の決まった学生は全員、卒業後の進路報告をする必要があります。  
 青山キャンパスの学生は進路・就職センターに、相模原キャンパスの学生は学生支援ユニット進路グループに、「進路届」を提出してください。

# 「人間関係と コミュニケーションB」



田崎 勝也  
国際政治経済学部  
国際コミュニケーション学科  
准教授

## 「どうしたら人とうまくやっていけるのだろうか」

現代社会を生きる我々にとって、人間関係に関する悩みは尽きません。友人との関係、課外活動での先輩・後輩の関係、家庭での親や兄弟との関係、異性との関係、さらには、近い将来直面するであろう組織での人間関係など、近年、社会のさまざまな場面で、人とうまくやっていく力、つまりコミュニケーション力が重要になっています。この授業では、コミュニケーション学、心理学、社会学、言語学などの理論に学びながら、豊かな人間関係を築くために必要なコミュニケーション力について考えていきます。

ところで一口に「コミュニケーション力」といっても求められる能力やスキルはさまざまです。たとえ同じ社会環境に暮らし、共通の言語を有したとしても、人は必ずしも同じ見方や表現ができるとは限りません。我々は、これまでに経験してきたことも、また日々感じていることも異なります。その結果、多くの誤解、行き違いを招いてしまいます。価値観が多様化する現代社会では、こうしたコミュニケーションの問題は、より顕著化しています。さらには、インターネットやケイタイなど新しい伝達手段の出現によって、新たなコミュニケーションの形態、人と人との関

わり合いも生まれています。

それでは現代社会を生きる我々は、どのようなコミュニケーション・スキルを身につける必要があるのでしょうか。残念ながらこれを身につければかならず人間関係がうまくいくといったコミュニケーションの特効薬はありません。まずはコミュニケーションがどのような思考の基に生み出され、どのような対人関係が展開しているのか、認識を高めることが大事になります。

ここで、授業で取り入れている心理テストのひとつ(注1)を紹介しましょう。もし酒の席で上司(または先輩)が酔って絡んできたとき、みなさんならどうするでしょうか。以下の5つから自分がとる行動を考えてみてください。

- (a) 上に立つ人は本当に大変ですね。  
ご苦労はよくわかります。
  - (b) 課長、そんなに酔っちゃダメですよ。  
課長らしくきちんとしてください。
  - (c) だいぶ飲みましたね。  
そろそろおひらきにしましょう。
  - (d) 課長!上司だと思って勝手なことばかり  
言わないでください。
  - (e) はい、わかりました。  
おっしょるとおりにします。
- (a)を選んだ人は、母親的な養育的親心を

もった人で、面倒見がよい・献身的・おせっかいなどの特性を有します。(b)の選択者は、家父長的で批判的な親心をもち、支配的でルールを重視する傾向があります。合理的な大人の心をもった人は(c)を選択し、このような人は打算的でありながらも理性的な特性を有します。(d)を選んだ人は無邪気な子ども心をもっており、開放的・創造的・享乐的といった特徴があります。(e)の選択者は、順応した子ども心をもった人で、行儀がよく、妥協的で、世間体を気にする傾向があります。

これはアメリカの精神科医バーンによって見出された「交流分析」と呼ばれるもので、人は誰しも上記の5つの側面(感情傾向)をもっているといわれています。ただある会話において、どの側面が表出するかは、状況や対人関係、または個性(パーソナリティ)などによっても変わります。上記の例では、課長さんのとった行為は明らかに場にそぐわないわけですから、(d)の特性でもある「無邪気な子ども心」の側面が表出していることがわかります。そして、こうした大人気ない課長さんにあなたがどのように反応するか、つまり、当事者がそれぞれどの側面を強調して会話に臨むかによって、さまざまな相互作用が生まれ、対人関係の諸相が決まると考えられます。

交流分析は、コミュニケーションの心理モデルのひとつにすぎませんが、人間関係に悩んだとき、自身の感情状態を確認し、問題を整理し、解決の糸口を見つける一助となることでしょう。そしてこうした取り組みを通して、自身のコミュニケーションの特徴を確認し、対人関係に対する認識を高めることが、よりよい人間関係を築くためのステップになるのです。

(注1) 齊藤勇著『イラストレート心理学入門』から引用



## 大学・大学院学費納付について

(大学院の学費納付の期限等詳細については大学院要覧を参照願います。)

### 〈学部生〉

#### 1. 学費振込依頼書発送・納付期限等について

(1) 学費振込依頼書は、下記の日程で保証人宛(お申し出のあった場合のみ学生宛)に送付いたします。

前期振込依頼書 4月上旬発送予定  
【納付期限4月下旬】

後期振込依頼書 9月上旬発送予定  
【納付期限9月下旬】

(2) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料が無料です。その他の金融機関からの振込みは、振込手数料が必要になります。

#### 2. ご相談・お問い合わせ先

(1) 住所変更(保証人・本人)・学費振込依頼書再発行  
→ 学生部厚生課 (青山)・学生生活グループ(相模原)

(2) 学費の延納・分納  
→ 学生部学生課 (青山)・学生生活グループ(相模原)

(3) 休学・退学  
→ 学務部教務課 (青山)・学務グループ(相模原)

3. 休学・留年・編入学・転部・転学科・再入学の学生の学費は、下記の表と異なる場合があります。詳細は、財務部本部資金グループにお問い合わせください。

4. 4年次で留年した学生の前期分学費振込依頼書は、

5月中旬発送予定【納付期限6月上旬】です。後期分は10月中旬の発送を予定しています【納付期限11月中旬】。

5. 年間学費を一括して納付することもできます。(4年次再修業者を除く)

ご希望の方は、学生部学生課(青山)・学生生活グループ(相模原)にお申し出ください。

#### 6. 教育ローンについて

本学では銀行と特別に提携した、有利な条件の「教育ローン」があります。詳細については、AGUニュース第51号(4～5月号)に掲載いたします。

2010年度 大学学費一覧表(入学年度別)

単位:円

学部・学科	2009年度入学生		2008年度入学生		2007年度入学生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
昼間部	教育学科	579,500		579,500		579,500
	英米文学科	578,700		578,700		578,700
	フランス文学科	580,000		580,000		580,000
	日本文学科	579,500		579,500		579,500
	史学科	580,500		580,500		580,500
	心理学科	611,500	391,500	611,500	391,500	611,500
	経済学部	590,500		590,500		580,500
	法学部	591,500		591,500		591,500
	経営学部	590,500		590,500		590,500
	国際政治経済学部	601,500		601,500		601,500
	総合文化政策学部	601,500		601,500		
	理工学部	887,500	565,500	887,500	565,500	887,500
	社会情報学部	747,500	478,500	747,500	478,500	
第二部(夜間部)	教育学科			332,000		335,000
	英米文学科	331,200	246,000	331,200	246,000	334,200
	経済学部					336,000
	経営学部					336,000

転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は除く。

※金融機関の窓口で、10万円を超える現金での振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要です。手続きを行う方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)が必要です。なお、預貯金口座を通じて振込みを行う場合には、上記手続きは不要です。但し、口座開設時に本人確認手続きが済んでいない場合には、窓口で本人確認書類の提示が必要となります。

参考 金融庁ホームページ <http://www.fsa.go.jp/policy/honninkakunin/>

### ご相談・お問い合わせ先電話番号

学生部学生課(青山・学部生)	03-3409-7835
学生部厚生課(青山・学部生)	03-3409-7945
学務部教務課(青山・学部生)	03-3409-7830
学生生活グループ(相模原)	042-759-6004
学務グループ(相模原)	042-759-6003
財務部本部資金グループ	03-3409-6479

2010年度 大学院学費一覧表(入学年度別)

単位:円

研究科・専攻	2009年度入学生		2008年度入学生	
	前期	後期	前期	後期
文学(英米文) 博前・博後	322,700		272,700	
文学(フランス文) 博前・博後	324,000		274,000	
文学(日本文) 博前・博後	323,500		273,500	
文学(史) 博前・博後	324,500		274,500	
教育人間科学(教育) 博前・博後	323,500	257,500	273,500	257,500
教育人間科学(心理) 博前・博後	361,500		311,500	
経済学 博前・博後	324,500		274,500	
法学(ビジネス法務を除く) 博前・博後	325,500		275,500	
法学(ビジネス法務) 修士2年制・博後	415,500		365,500	
法学(ビジネス法務) 修士3年制	338,000	180,000	338,000	180,000
経営学 博前・博後	340,500		290,500	
国際政治経済学 修士・博後	465,500	257,500	365,500	257,500
総合文化政策学 修士2年制	465,500			
総合文化政策学 修士3年制	388,000	180,000		
総合文化政策学 一貫制博士	365,500		365,500	
国際マネジメント 一貫制博士	465,500	257,500	465,500	257,500
理工学博前	560,000			
理工学博後	590,000	373,000	490,000	373,000
社会情報学 博前・博後	498,000	315,000	423,000	315,000
国際マネジメント 専門職2年制	656,000	378,000		
国際マネジメント 専門職3年制	546,000	268,000	546,000	268,000
法務専門職	708,000	500,000	708,000	500,000
会計プロフェッション 専門職	807,000	600,000		
会計プロフェッション 博後	394,500	257,500	345,500	257,500

博前は博士前期課程、博後は博士後期課程

※留年・3年次編入学は除く

## 「青山学院 エバーグリーン募金」

130周年記念事業としてスタートした「青山学院 EVERGREEN 21 募金」は2009年12月末をもって終了いたしました。皆様方のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。給付型奨学金への募金は新募金制度「青山学院 エバーグリーン募金」へと引き継いでまいります。引き続きご協力をお願いいたします。

パンフレット請求先:募金事務局

TEL:03-3409-6208 FAX:03-3409-3890

### ■在校生支援体制の充実

給付型「青山学院スカラーシップ制度」の充実

冠奨学金/寄付者の名前を冠し、寄付者による給付条件指定(寄付金額15万円以上)

お名前を冠することを希望されない場合、または15万円未満のご寄付は「エバーグリーン奨学金」の名称に統合して奨学金を設定いたします。

※ご寄付は税制上の優遇措置の対象となります。

# 2010年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験日程

## ●一般入学試験

〔全学部日程〕 試験会場：青山キャンパス ※ただし、志願者状況により「青山キャンパス」のほか、「相模原キャンパス」で実施することがあります。

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
全学部・学科(注)	1/4(月)～1/23(土) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	2/7(日)	2/14(日)	2/22(月)

(注) 文学部第二部を除く。社会情報学科はA方式・B方式で募集。  
※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です。

## 〔個別学部日程〕 試験会場：青山キャンパス

学部・学科・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合文化政策学部 総合文化政策学科(A方式) 社会情報学部 社会情報学科(A方式・B方式)		2/9(火)	2/15(月)	2/22(月)
理工学部 物理・数理学科(A方式) 化学・生命科学科(A方式) 電気電子工学科(A方式) 機械創造工学科(A方式) 経営システム工学科(A方式) 情報テクノロジー学科(A方式)		2/10(水)		
理工学部 物理・数理学科(B方式・センタープラス方式) 化学・生命科学科(B方式・センタープラス方式) 電気電子工学科(B方式) 機械創造工学科(B方式・センタープラス方式) 経営システム工学科(B方式) 情報テクノロジー学科(B方式・センタープラス方式)	1/4(月)～1/26(火) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	2/11(木)	2/17(水)	2/24(水)
文学部 英文文学科(A方式) フランス文学科(A方式) 日本文学科(B方式) 史学科(A方式)		2/13(土)		
教育人間科学部 教育学科(B方式) 心理学科(A方式)			2/20(土)	
文学部 英文文学科(B方式) フランス文学科(B方式) 日本文学科(A方式) 史学科(B方式)		2/14(日)		3/1(月)
教育人間科学部 教育学科(A方式) 心理学科(B方式)				
経営学部 経営学科(A方式・B方式) マーケティング学科(A方式・B方式)		2/15(月)	2/21(日)	
法学部 法学科(A方式・センタープラス方式) 国際政治経済学部 国際政治学科(A方式・B方式) 国際経済学科(A方式・B方式) 国際コミュニケーション学科(A方式・B方式)	1/4(月)～1/30(土) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	2/17(水)	2/23(火)	3/2(火)
経済学部 経済学科(A方式・B方式) 現代経済デザイン学科(A方式・B方式)		2/18(木)	2/24(水)	3/3(水)
総合文化政策学部 総合文化政策学科(B方式) 文学部第二部 英文文学科(A方式・B方式)	1/4(月)～2/6(土) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	2/19(金)	2/25(木)	3/4(木)
		2/21(日)	2/27(土)	3/8(月)

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です(正規合格者のみ対象)。

## ●大学入試センター試験利用入学試験

〔前期日程〕

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
文学部 英文文学科 フランス文学科 日本文学科 史学科 教育人間科学部 教育学科 心理学科 経済学部 経済学科 現代経済デザイン学科(2教科型・3教科型・4教科型) 法学部 法学科(3教科型・4教科型) 経営学部 経営学科 マーケティング学科 国際政治経済学部 国際政治学科(3教科型・4教科型) 国際経済学科(2教科型・3教科型・4教科型) 国際コミュニケーション学科 総合文化政策学部 総合文化政策学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科 社会情報学部 社会情報学科	1/4(月)～ 1/16(土) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	1/16(土) 1/17(日) [平成22年度 大学入試センター 試験受験案内]を 参照してください	2/14(日)	2/22(月)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。  
※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です。

〔後期日程〕

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
法学部 法学科 経営学部 経営学科 マーケティング学科 国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 情報テクノロジー学科 社会情報学部 社会情報学科	2/25(木)～ 3/4(木) 郵送受付に限ります (締切日消印有効)	1/16(土) 1/17(日) [平成22年度 大学入試センター 試験受験案内]を 参照してください	3/13(土)	3/19(金)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

## Club&Circle 0

### 次号からクラブ・サークル各団体のユニークな取り組みを紹介します。

大学生活において、「仲間」とともに過ごす時間は、とても貴重な一生の思い出となります。とくにクラブ・サークルでは、学部学科や学年を超えた交流のなかから、より深い人間関係が構築され、かけがえのない仲間は当然のこと、新しい自分自身と出会えることもあるのです。

現在、青山学院大学では200を優に超えるクラブ・サークルが、それぞれの目的や信念のもと積極的に活動しています。「AGU NEWS」誌面でも、何度かクラブ・サークルの特集を組み、その成績や成果を掲載してきましたが、スペースにも限りがあり、数多くの団体にスポットを当てることはなかなかできませんでした。

そこで次号からは、このスペースに「Club & Circle」のコーナーを設け、毎号ひとつの団体が登場して、その活動内容を紹介することになりました。全国規模の大会で好成績を挙げるのも素晴らしいことですが、それだけがクラブ・サークルの目的ではありません。同じ興味や関心を抱いた仲間が集い、独自のユニークな取り組みを展開している団体を少しでも多く紹介していきたいと考えています。ぜひ、ご期待ください。



## AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

●なお、「AGUニュース」を確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。

青山キャンパス→学生部厚生課  
事務取扱窓口  
相模原キャンパス→学生センター・学生生活グループ